

エマをまねく

ノエル・バラス
(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

サムはドアをおして、レストランに入りました。おなか
が鳴っています。とてもおなかですいているのです！この
レストランのフライドチキンは最高です。サムの家族はサッカー
の練習の後で、よくここに来るのです。
サムとお母さんは、注文するためにカウンターに行きました。
「やあ、エマ！」とサムは言いました。エマはサムたちのお気に
入りの店員でした。いつも親しみやすく、親切です。
「サッカーの練習はどうだった？」エマはニコニコしながらた
ずねました。
「とてもよかったよ。ほくたち、次の試合に勝つよ！」サムは

言いました。
「試合の話、くわしく聞かせてね」とエマは言いました。
サムはにやっと笑い、家族は注文をしました。
翌週、サムのチームは試合に勝ちました！サムは、エマに話す
のが待ち切れません。でも、エマはレストランにいませんでした。
その次の週も、エマはいませんでした。サムはエマに会えな
くてさびしく思いました。
数週間後、サムの家族はふたたびレストランにやって来まし
た。サムはエマがテーブルをきれいにしているのを見ました。
急いであいさつをしに行きました。

サムはエマを
なぐさめたいと
思いました。
どうすれば
よいでしょうか？

「おかえりなさい！」とサムは言いました。「会
えなくてさびしかったよ。」
「また会えてうれしいわ」とお母さんが言いま
した。

「ありがとうございます。」エマは少しだけほほえまし
た。でも、目はとても悲しそうでした。
「大丈夫？」サムはたずねました。
「実は、夫がなくなったの。だからお店に来ていなかったの
よ。」
お母さんはエマをぎゅっとだきしめました。エマが悲しんで
いるのを見て、サムも悲しくなりました。
食べ物のじゅんびができる、サムはトレイをテーブルに運ぶ
のを手伝いました。エマの悲しそうなすがたが頭からはなれ
ません。サムは席にすわりましたが、何も食べる気になれませ
んでした。エマが元気になるように助けたいと思いました。で
も、どうすればよいでしょうか？
そのとき、サムはあることを思い出しました。ビショップが教
会ですべての家族に小さなカードを配ってくれました。カード
には、総大会をテレビで見たり、ラジオで聞いたりできる時間
が書いてありました。ビショップは、大会は平安を感じられる
すばらしい時間だと言っていました。
「お母さん、エマに総大会のカー
ドをわたしてもいい？」サムはたず
ねました。大会を見たら、エマは少
し元気になるかもしれません。
「それはすばらしい考えね。」お母さ
んはさいふを出して、中からカードを取り

出しました。「はい」と、お母さんが言いま
した。「これをあげるといいわ。」
サムはお母さんからカードを受け取りまし
た。カウンターに歩いて行き、エマと話ができる
か店員にたずねました。
「申しわけありませんが、彼女は今いそがしいです」と店
員は言いました。
「分かりました」とサムは言いました。「これをわたしても
らえますか？ほくの教会の特別な大会を見る招待状なん
です。」サムは店員にカードを手わたしました。「もしよ
かったら、あなたも見てください！」
店員はにっこりしました。「ありがとう！必ずわたすよ。」
サムはテーブルにもどると、心の中が温かくなりました。
「どうだった？」とお母さんがたずねました。
「エマはいそがしかったから、エマにわたしていただきつ
て別の店員にカードをわたしてきた」とサムは言いました。
「これで二人の人がカードを見るね！もしかしたら二人と
も総大会を見て、平安を感じるかも。」●
このお話は、グアムでの出来事です。



イラスト/クリスティーン・M・シユナイダー



教会や活動に
来るように、
あなたはだれをまねく
ことができますか？